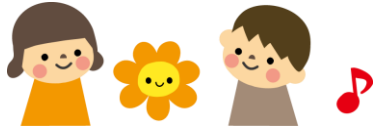


小児の心肺蘇生法



乳児(1歳未満)

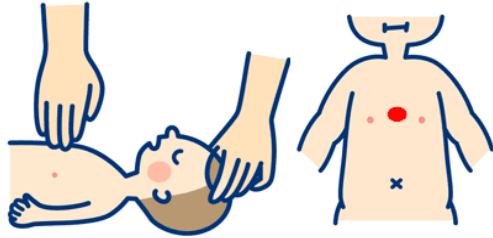


小児(1歳以上16歳未満)

- ・胸の厚さの約3分の1沈み込むまで圧迫します。
- ・成人と同様に気道確保し人工呼吸を2回行います。
- ・胸骨圧迫30回と人工呼吸2回を交互に行います。

乳児の場合(1歳未満)

目安は胸の真ん中を指2本で押す！



小児の場合(1歳以上16歳未満)

基本は成人と同じであるが、体格によって片手で行ってもよい！



AEDの使用について



AEDの小児用パッドや小児用モードが...



ある時！！ 乳児を含めた未就学児と推測されるときに使用します。

ない時！！ 成人用パッド、成人用モードを使用して下さい。

※ 成人用パッドを使用するときはパッド同士が触れ合わないよう注意して下さい。

新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえた心肺蘇生法について(乳児・小児)

◎「胸骨圧迫・人工呼吸」

子どもに対しては、救急講習を受けて人工呼吸の技術を身につけていて、人工呼吸を行う意思がある場合には、胸骨圧迫と人工呼吸を組み合わせで行う。感染の危険などを考えて人工呼吸を行うことにためらいがある場合には、胸骨圧迫だけを続ける。

※子どもの心停止は、窒息や溺水などの呼吸障害を原因とすることが多く、人工呼吸の必要性が比較的高い。